

地域密着型 デイサービスそう・けん・び ハナ

第7回 運営推進会議 記録

事業者：株式会社 中馬エンタプライズ 事業所：デイサービスそう・けん・び ハナ

- 開催日時：2023年6月22日（木）16:30-17:00
- 開催場所：デイサービスそう・けん・び ハナ（〒880-0930 宮崎市花山手東 2-9-1）

●出席者（5名）▶実績5名

- ・デイサービスそう・けん・びハナ ご利用者本人 1名
- ・デイサービスそう・けん・びハナ ご利用者本人のご家族 1名
- ・宮崎市大淀地区地域包括支援センター 1名
- ・民生委員 1名
- ・デイサービスそう・けん・び ハナ 管理者 1名【進行役】

●議題・報告事項【詳細は別添資料をご参照ください】

○会社概要／理念・事業紹介

○デイサービスそう・けん・びハナの現況について

- ▶デイサービスそう・けん・びハナのご利用者様の様子(写真)
- ▶登録者数、登録者推移、稼働率、介護度別構成比、既往歴、男女比、年齢構成、商圈分布
- ▶課題・お声

- ✓ 介護度と身体的実感(体感)のギャップに対する疑問
- ✓ 人材確保や研修
- ✓ 介護認定の遅れ

→持続可能なリハビリ・フレイル予防・介護予防のためのサービスを提供していく。

○トピックス

- ▶フランチャイズ展開

○地域活動について

●課題、意見、助言

- ・介護度と身体的実感(体感)のギャップに対する疑問について、助言あり（大淀包括より）

助言：確かに利用者から疑問については耳にします。調査員は全国共通の項目で聞き取りを行うため、正確な情報をキャッチしきれずに、実態と介護度とのギャップも生まれ得ると考えられる。ギャップを埋めるためにできる事：
①事業所や利用者が、身体的機能や日常の状態をできるだけ詳細且つ正確にケアマネージャー等に情報を提供する。②認定調査の際に利用者が箇条書きにまとめて、身体的状態やADL、困りごと等をしっかりと伝える事も有用。①②により結果的に調査員に多くの情報を届け、実態との乖離を少なくする。

- ・地元花山手も団塊世代の方が増えて、高齢化が進んでいる（民生委員）

●終わりに

- ・2025年には団塊世代が75才となり、ますます高齢化が進み、介護認定の申請も増加する事を前提に、地域と事業所と情報交換や共通理解のもと、持続可能なリハビリやフレイル予防のサービス提供を行い地域貢献できるように取り組んでいきたい。

●次回の運営推進会議（予定）

- ・2023年11月までに実施予定

●議事録作成

- ・デイサービスそう・けん・び ハナ 管理者